

平成31年 4月18日

三好市議会議長 殿

議員名 竹内 義了  印

平成30年度政務活動費収支報告について

三好市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、
別紙のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成 30 年度政務活動費収支報告書

議員名 竹 内 義 了



1 収 入

政務活動費 204,000 円

2 支 出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費	101,634	
研修費		
資料作成費		
資料購入費	16,899	
広報費	97,200	
広聴費		
会議費		
要請・陳情活動費		

3 残 額 0 円

様式第6号（申し合わせ第6条関係）

調査研究費支出一覧

年 月 日	支 出 内 容	金 額
平成30年11月1日 ～2日	代表委員「竹内義了」により収支報告提出分 千葉県習志野市 地域担当職員制度について 東京都武蔵野市 武蔵野プレイスについて	50,640
平成31年2月13日 ～14日	代表委員「竹内義了」により収支報告提出分 東京都 衆議院第二議員会館 要望及び道の駅に関する研修会	50,994
合 計		101,634

平成30年11月 6日

三好市議会議長 殿

代表議員名 竹内 義丁  印

平成30年度政務活動費収支報告について

三好市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第2項に基づき、
別紙のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成30年度政務活動費収支報告書

代表議員名 竹内 義了

1 収入 (単位：円)

議員名	金額
千葉 清春	51,050円
並岡 和久	51,050円
天羽 強	51,050円
近藤 良仁	51,050円
伊丹 征治	51,050円
平田 政廣	51,050円
大浦 忠司	51,050円
高橋 玉美	51,050円
竹内 義了	50,994円

政務活動費計 459,394 円

2 支出 (単位：円)

項目	金額	備考
調査研究費	459,854円	
研修費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
会議費		
要請・陳情活動費		

平成31年 2月26日

三好市議会議長 殿

代表議員名 竹内 義了  印

平成30年度政務活動費収支報告について

三好市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第2項に基づき、
別紙のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成30年度政務活動費収支報告書

代表議員名 竹内 義了

1 収入 (単位:円)

議員名	金額
三木 和弘	50,650円
並岡 和久	50,650円
天羽 強	50,650円
近藤 良仁	50,650円
伊丹 征治	50,650円
平田 政廣	50,650円
大浦 忠司	50,650円
高橋 玉美	50,650円
竹内 義了	50,640円

政務活動費計 455,840 円

2 支出 (単位:円)

項目	金額	備考
調査研究費	455,840円	
研修費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
会議費		
要請・陳情活動費		

様式第 1 2 号 (申し合わせ第 6 条関係)

資料購入費支出一覧

年 月 日	支 出 内 容	金 額
平成 31 年 3 月 28 日	「議会と自治体」誌 2018 年 4 月～2019 年 3 月分	9, 5 4 0
平成 31 年 3 月 25 日	月刊「自治研」誌 平成 30 年 5 月～平成 31 年 3 月分	7, 3 5 9
合 計		1 6, 8 9 9

領 収 証

竹内 義了 様

No. _____

★ 79540-

但「議会と自治体」誌代 2018/4 ~ 2019/3 まで

2019年 3 月 28 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

〒776-0020 徳島県吉野川市鴨島町
日本共産党阿北地区委員会
電話(0883) _____
FAX(0883) _____

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 書

竹内 義了 様

7, 3 5 9 円

月刊「自治研」 平成 30 年 5 月分～平成 31 年 3 月分

平成 31 年 3 月 25 日

出版物取扱者



様式第14号（申し合わせ第6条関係）

広報経費内訳書

広報の内容 三好市議会レポート よしのり通信

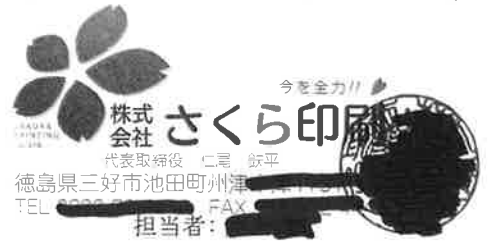
項目	金額	備考
印刷製本費	97,200	
消耗品費		
合計		

- ※ 作成した広報紙・報告書等を1部添付すること。
- ※ 領収書を添付すること。

複数人での支出の場合は、当該支出に関する議員氏名

--

竹内よしのり 様

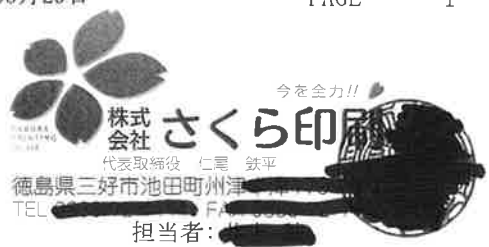


お客様コード No. 900166

リーフレット よしのり通信 Vol.16	2,000 枚	40,000	
取引銀行 [redacted]	送料額	40,000	消費税額 3,200
			43,200

請求書
 売上日 平成30年06月29日

竹内よしのり 様



お客様コード No. 900166

品番	品名	数量	単位	単価	金額	備考
	リーフレット よしのり通信 Vol.16	2,000	枚		40,000	
取引銀行: [redacted]	合計			40,000	消費税額 3,200	43,200

領収証

No. 034124

竹内よしのり 様

金額	百万	千	円
	7	43	200

但

上記の金額正に領収致しました

平成 30 年 9 月 26 日

取扱者印

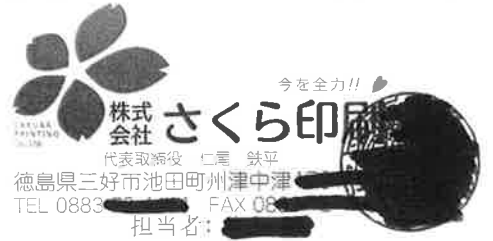
株式会社 さくら印刷

代表取締役 仁尾 鉄平

〒778-0020 徳島県三好市池田町州津中

TEL (0883) [redacted] FAX (0883) [redacted]

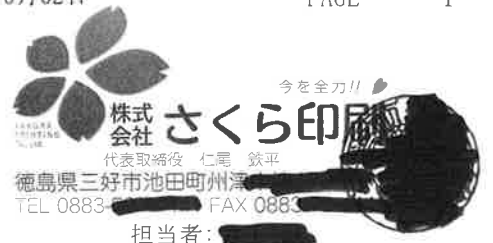
竹内よしのり 様



お客様コードNo. 900166

リーフレット よしのり通信 Vol.17	2,000 枚	40,000		
取引銀行: [Redacted]		税抜額	40,000	消費税額
			3,200	43,200

竹内よしのり 様



お客様コードNo. 900166

品番	品名	数量	単位	単価	金額	備考
	リーフレット よしのり通信 Vol.17	2,000	枚		40,000	
取引銀行: [Redacted]		合計	税抜額	40,000	消費税額	3,200
					総額	43,200

領収証 No. 034362

竹内よしのり 様


金額	百万	千	円
	7	53	200


内訳

現金	—
小切手	
手形	
相殺	

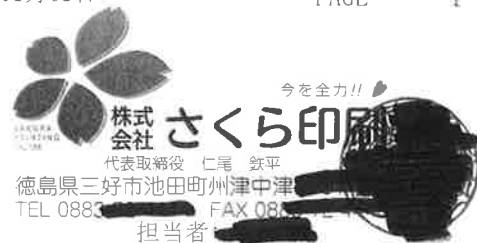
但

上記の金額正に領収致しました
平成 30 年 12 月 25 日


 取扱者印


 株式会社 さくら印刷
 代表取締役 仁尾 鉄平
 〒778-0020 徳島県三好市池田町州津中
 TEL(0883)7- [Redacted] FAX(0883) [Redacted]

竹内よしのり 様

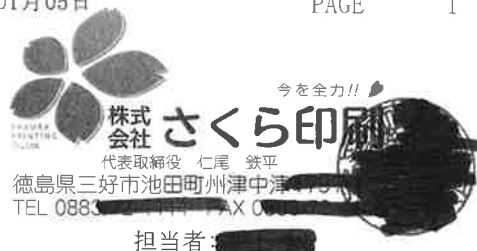


お客様コード No. 900166

リーフレット よしのり通信 Vol.18	2,000 枚	40,000	
取引銀行: [Redacted]	振替額	40,000	消費税額 3,200
			43,200

請求書

竹内よしのり 様



お客様コード No. 900166

品番	品名	数量	単位	単価	金額	備考
	リーフレット よしのり通信 Vol.18	2,000	枚		40,000	
取引銀行: [Redacted]	合計	税抜額	40,000	消費税額	3,200	総額 43,200

領収証

No. 034546

竹内よしのり 様

金額	百万	千	円
	7	43	200

内訳

現金	
小切手	
手形	
相殺	

但

上記の金額正に領収致しました

平成 31 年 1 月 31 日

取扱者印

株式会社 さくら印刷

代表取締役 仁尾 鉄平

〒778-0020 徳島県三好市池田町州津中津

TEL(0883)794411 FAX(0883)794412

笑顔届ける

三好市議会レポート

2018年 夏

よしのり

通信

Vol.16

電話：0883-72-1549

E-mail：leon2004take@yahoo.co.jp



池田小学校5年生によるお米づくり学習の様子。梅雨の晴れ間の青空のもと、地域の方々、保護者のみなさまのご協力により、上手に田植えを行いました。初めて田んぼに足を踏み入れて、ぎこちなかった子どもたちも最後は空いた田んぼの中で泥だらけになって歓声をあげていました。
子どもたちが健やかに成長していくためには地域の力が欠かせません。

(6月2日 池田町イケミナミ)

小暑をすぎ、夏本番を迎えようとしています。みなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

みなさまにご支援いただいた4月の三好市議会議員選挙で、市議会も新しい形となりました。今後4年間、市民のみなさまのご期待に応えるべく、声を聞き、みなさまと一緒に「元気な三好市」を創っていきます。

市議会では総務企画常任委員会に所属となり、地方創生や公共施設の再配置、防災・減災対策など、幅広い施策の議論を重ねていきます。

「三好はもっとよくなれる！」これからもその想いを胸に市政の前進に全力を傾注していきます。引き続きのご指導と、みなさまのご協力を心よりお願い申し上げます。



三好市議会議員 竹内 義了

また「後戻り」…もううんざり

新庁舎特別委員会が再設置。現行計画の撤回も含めて議論。

6月議会最終日、本庁舎整備事業の意見集約を行うとして「庁舎建設検討特別委員会」が議員発議により提案可決され設置されることになりました。本庁舎整備はこれまで議会で議論を重ね、予算も含め議会の中で決定しており、すでに基本設計が形になっている段階

です。提案説明では「建設位置も含めて議論する」など、議会の中でこれまで積み上げてきた議論経過や意思決定を無視する方向性が示されました。

基本設計がほぼ固まっているなかでの特別委員会の設置は、庁舎建設事業をスタートラインに戻すことであり、議会の姿勢が問われるものです。

「防災拠点」としての庁舎建設がこれ以上遅れることは、市民のくらし、生命、財産、安全、安心を奪うことにも繋がりがねません。「後戻り」ばかりの議会議論には「同じことの繰り返しばかり」「もううんざりだ」との市民の声も多く出されています。



6月定例会議 一般質問要旨 こんなことを聞きました

1. 熊本地震を契機に国は庁舎など防災拠点の耐震化を強く進めている。市の見解は。

地方公共団体が所有または管理する防災拠点となる公共施設等の耐震化率は92.2%、徳島県における耐震率は89.7%と耐震化が進んでいる状況ですが、三好市では耐震化率44.4%と極めて低い状況です。また、県内24市町村のうち17の自治体で本庁舎の耐震率は100%となっていますが、三好市では本庁舎の新築や支所の耐震化が進められておらず、地震災害時等では防災拠点としての機能を果たし得ない状況です。国は早期の耐震化を求めており、本庁舎をはじめとする公共施設の耐震化は喫緊の課題です。防災拠点として早期の本庁舎整備を求めています。

2. 防災力の向上へ継続的な啓蒙活動が重要。防災監、防災指導員の取り組み充実を。

三好市は四国一という広範な面積と、広い森林面積、急峻な傾斜地の多さ、大小様々な河川、谷の存在など、様々な災害要因が地域ごとに点在しており、地域ごとに求められる防災力や地域課題もそれぞれです。かつ、市内中心部には中央構造線が東西に横たわり、広範な地域で地震に対する備えを有しておかねばなりません。組織的、地域的に防災力を高めていくためには、災害対応マニュアルの作成や継続した防災訓練、防災教育が欠かせません。防災指導員等が行ってきた防災講座等には延べ4,238人の市民が参加し、市民総体の防災力を高めてきています。こうしたことを基軸に、今後も取り組みの必要性、充実を求めています。

3. 健やか交流ひろば周辺への図書館新設で文化・市民活動の拠点づくりを。

2015年3月に大手の書店が店をたたみ、市内にはある程度の規模の書店がなくなりました。地域文化の灯を消さず、多くの市民の知的欲求に応えるためには現実的な対応として図書館の充実整備が必要です。三好市中央図書館はサンライズビルに設置されていますが、耐震化やアスベスト除去など、今後の施設利用の方向性も不透明です。最近では図書館をまちづくりの一環と位置づけ、中心市街地の活性化やにぎわい創出に取り組む自治体も多く、図書館への注目は増えています。これからの図書館像はカフェや体育・スポーツ施設や公園など他の文化施設との親和性を高め、より幅広い対象者が立ち寄る事のできる施設に変わっていかなければなりません。池田総合体育館に隣接して整備される「健やか交流ひろば」周辺への図書館の新設により、三好市の文教地区として、生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援などの充実が図られるよう提案していきます。

笑顔届ける

三好市議会レポート

2018年 秋

よしのり

通信

Vol.17

電話：0883-72-1549

E-mail：leon2004take@yahoo.co.jp



8月31日から9月2日にかけて、三好市池田町イケダ湖特設会場において「30回記念大会 WWAウェイクボード世界選手権大会」が盛大に開催されました。三好市の吉野川流域を活かし、昨年開催されたラフティング世界大会に続き三好市の魅力を世界に発信しています。地元の子も達も「イケダコイレブン」として世界の舞台を経験しました。「三好市ウォータースポーツのまちづくり」への取り組みは始まったばかりです。地域資源を活かした未来の創造へ、市民のみなさまのご協力をお願いします。(6月2日 池田町イケダ湖)

空は深く澄み渡り、さわやかな季節となりましたが、皆様におかれましては健やかに過ごしのことと存じます。

今年1月、2月の大寒波から、猛暑、地震、台風、そして集中豪雨と、多くの自然災害が全国で猛威をふるい続けています。とりわけ「平成30年7月豪雨」では、三好市内にも大規模な災害を引き起こし、未だ避難生活を送られている方も多くいらっしゃいます。被害に遭われたみなさまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、迅速な復旧、復興が進みますよう行政、議会ともに全力で取り組んでいきます。

「災害に強いまち」をつくっていくためには、必要な施設整備を進めていくとともに、地域の力を高めていくことが重要です。今後も自主防災会や各種コミュニティの充実など、市民協働で取り組みます。



三好市議会議員 竹内 義了

9月定例会議 一般質問要旨

子育て支援施策の充実で人口減少に歯止めを

人口減少社会に直面する中、全国には「子育て支援施策」の充実を主要施策と位置づけて、人口増加や出生率の向上などの成果を上げている自治体も現れています。三好市でも近隣自治体への人口流出は直面する課題です。「子育てするなら三好」と、市内外の評価を高め、人口減少に歯止めをかける施策の前進が求められています。

1. 若者定住へ、子育て支援施策の充実強化とあわせシティプロモーションが必要。

三好市ではこれまで「育児用品購入補助事業」や「第3子保育料無料化」など子育て世帯を主体にした施策を講じてきています。さらに今年度より「中学校の給食無償化」を行うなど、充実強化に取り組んできています。また、生涯活躍のまちづくりを軸に移住、交流事業にも積極的に取り組み、移住、交流人口の拡充を図っています。三好市の子育て支援施策は魅力的な内容が多いですが、これからもより効果的な施策の推進が求められています。また、その魅力を市内外にアピールすることが大切です。

地域のブランドイメージを高め、三好市が一体となって魅力の発信、PRを行うシティプロモーション活動がこれまで以上に重要になってきます。

2. 若者向け住宅や定住促進住宅の整備と、中心市街地再開発や分譲地の設置を。

人口動態を分析し、将来展望を示した「三好市人口ビジョン」の中では、近隣自治体の東みよし町、愛媛県四国中央市への人口流出が課題として示されています。三好市で生まれ育った若い世代が三好市で定住する、また三好市に魅力を感じて三好市に移住をする。こうしたことを継続して確保していくためには、若年層向け、子育て世代向けの定住促進住宅の整備などの居住環境の充実が重要です。また若年層や子育て世代向けの分譲地整備などを官民一体で取り組むことも求められています。

市営住宅のリフォームや市有財産の活用、「空き家バンク」など遊休資産の流動化など、あらたな住環境づくりのあり方や支援策の検討が必要です。

3. 「こども園」の設置と細やかな子育て支援の推進を。小学校の新築改修を。

三好市では、広い市内に幼稚園、保育所、こども園と、異なる施設が点在しており、地域によっては近い距離に各施設が偏っている地域もあります。これからの人口減少が進んでいく中で、このような保育体制を続けていくことは無理も生じてきます。また、老朽化が進んでいる施設も多数あり、安心・安全な施設の必要性もこれまで以上に高まっています。全市的な幼保一元化の実施により、施設、環境、制度が充実した「子育て支援の拠点」を市内それぞれの地域につくり、子どもたちの育ちを保証していくことが大切です。

また、池田小学校など老朽化が進む校舎では、雨漏りなどの常態化などの問題も発生しています。子どもたちが安心して暮らし学べる環境づくりと、地域の拠点づくりを進めていくためにも、必要な小学校に新築改修等を求めていきます。

新庁舎建設ようやく決定。また、サンライズビルは解体へ

6月議会最終日に再設置された「庁舎建設検討特別委員会」は9月3日までに3回の委員会を開き、意見を取りまとめました。市執行部より、1. 現庁舎は使用せず解体し、来庁者駐車場とする。2. 多目的ホールは新庁舎に組み込まず、別に検討する。ただし、災害時支援機能となるべきスペースは大会議室として確保する。3. 保健センターは事務所に転用し、現場事業等を所管とする比較的市民利用の少ない部門を配置する。との報告を受け、「市民の安心安全のため、速やかに新庁舎の建設を着実に推進」することを提言し、審査を終了しました。

また、9月議会で「サンライズビル」（三好市池田町マチ）を解体する方針が示されました。ビル外壁塗装等にアスベストが含有されていることが判明したことによるもので、図書館や社協事務所等に退去などの影響が出ます。市中央公民館の機能をどうしていくかなど、今後の課題も多く残っています。

笑顔届ける

三好市議会レポート

2019年 新春

よしのり

通信

Vol.18

電話：0883-72-1549

E-mail：leon2004take@yahoo.co.jp



昨年は、寒波の襲来から夏の集中豪雨や台風と多くの災害に見舞われた厳しい一年でした。未だ避難を余儀なくされている市民の方も多くいらっしゃいます。市民の皆様が笑顔あふれる日々をお過ごしいただくためにも、市政を前へ前へと進めていくことが求められています。（写真は手作りの恵比寿天と大黒天：提供 池田町 黒木公子様）

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

みなさまには良き新春をお迎えのことと存じます。旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬご指導賜りますよう、よろしくお願いたします。みなさまのご健康ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

わたしたちが世界に誇る吉野川で、一昨年はラフティング世界選手権、昨年はウェイクボード世界選手権が開かれ、世界中から多くの方々が三好市に訪れていただきました。これらの取り組みは、スポーツ庁のWeb広報マガジン「デポルターレ」において、素晴らしい動画と記事で紹介されており、三好市の魅力を伝えていただいています。



三好市が多くのから愛され、幸せを感じ、住みやすいまちにするために、みなさまと一緒に全力で市政に取り組みます。今後ともご指導をよろしくお願いたします。

2019年1月

三好市議会議員 竹内 義了

12月定例会議 一般質問要旨 **こんなことを聞きました**

1. 船井電機跡地整備の方向は。

サンライズビルの解体等を踏まえ、2020年度以降の整備をめざす。

船井電機池田工場跡地整備は、平成29年度に実施設計に着手しました。その中では、多くの市民のみなさまにご参加いただき、市民ワークショップを重ねて、「健やか交流ひろば(仮称)」の機能や利用方法について、市民参加で公園デザインを総合的に形作ってきました。

しかし、平成30年2月議会で事業実施に「附帯決議」がついたこと、また新庁舎の多目的ホール機能が見直されたこと、サンライズビルの解体の方向が示され、中央公民館や図書館などの周辺整備の方向性を形作る必要があることなどの理由で、当面、事業着手を行わないことが示されました。

今後はサンライズビルの跡地周辺部の再整備とあわせ、船井跡地の利活用に向けた検討が並行して進められ、2020年度以降に、5カ年計画で整備する方向性が示されました。



2. スポーツ・文化・芸術等の全国大会への支援、サポートを。

一般団体・個人に対する支援はない。今後サポート体制を検討したい。

三好市では、小・中学校に「児童生徒教育活動費運用方針」のもと、各種大会参加活動費として交通費や宿泊料を補助しています。高等学校においては「三好市スポーツ大会出場激励金交付要綱」を設け、団体競技で全国大会に出場する場合、激励金を交付しています。また、全国高校野球大会への出場に対し、応援団等に交通費補助の制度も設けています。

一般団体、個人への支援は、オリンピック・世界選手権・アジア選手権・ユニバーシアード等へ参加する団体・個人への奨励金はあるものの、国内大会や文化・芸術分野における支援体制が構築できていません。

さまざまな分野の個人・団体の活躍は三好市の活気を生むとともに、選手、応援する人たちや、まち全体の一体感を醸成するものです。教育各分野の振興を図る意味でも、全国大会等への出場に支援、サポートできる体制づくりが求められています。



道の駅事業に附帯決議

2020年に開通を予定している国道32号線猪ノ鼻道路。市が計画している池田町州津の道の駅事業に対し、附帯決議が可決されました。

「基本計画が市議会の同意を得られるまで次の段階に進まないこと」を求めるものです。

これまで、新庁舎整備や船井跡地整備にも附帯決議が繰り返されてきましたが、結果としてそれぞれの事業実施を遅らせています。市議会の判断が行政を停滞させることは許されません。



昨年12月21日、三好市高校生議会が行われました。質問する姿はフレッシュかつ堂々としたものでした。今後の市政へとしっかり反映させていきます。

公職選挙法の規定により、年賀の挨拶を控えさせていただきました。